

資料編

1. 調査対象校の概要	64
2. 調査票見本(生徒用)	66
3. 調査表見本(教員用)	70
4. インタビュー調査項目(生徒)	72
5. インタビュー調査項目(教員)	73
6. 基礎集計表(生徒)	75
7. GTEC for STUDENTSのスコア・グレードについて	78

1. 調査対象校の概要

本調査は、ソウル市内および近郊の高等学校を調査対象校としているが、韓国（ソウル市近郊）では高校入試が実施されておらず、居住地域の学校に生徒が進学をしているが、どの地域にある学校かなどによって、それぞれの学校の特性がある。以下、教員アンケートの結果、および、校長への聞き取り調査の結果をもとに、地域の特徴を含め各調査対象校の概要をまとめた。

項目 / 学校	A校	B校	C校	D校
所在地	ソウル市内（南西部）	ソウル市内（西側）	ソウル市内（北東部）	ソウル市郊外
公立 / 私立*1	私立	私立	公立（国立大附属*3）	私立
単学 / 共学	女子単学	女予単学	共学	共学
1 クラスの平均生徒数	35人	1年 38人 2年 38人 3年 35人	38人	37人
学校がある地域の特徴	ソウル市内では世帯の所得水準が低い地域にあたる。大部分の生徒は純粹で明るく明快である。学習意欲が若干乏しい学生たちもいる。	保護者の教育に対する意識が高い地域で、私教育を受けている生徒が多い。(同校も含めて) この地域の学校は、高校入学時のテストで全国平均より高い成績を出している。	ソウル市内では所得水準が低い地域にあたるが、指導力の高い教員が多く、学校的な教育力が高い(大学に近い地域への移転の話があるが、地域住民は、この地域から同校がなくなることに反対している)。	他の地域に比べて世帯の所得水準が高い、保護者の教育に対する意識が高い。
英語単位数 [科目名]	2年	1年 4単位 [英語]	4単位 [英語] 文系: 7単位 (4単位 [英語I]、3単位 [会話]) 理系: 4単位 [英語I]	4単位 [英語] 文系: 7単位 (4単位 [英語I]、3単位 [会話]) 理系: 7単位 (4単位 [英語I]、3単位 [会話]) 外国留学クラス: 13単位 (4単位 [英語I]、3単位 [会話]、3単位 [会話]) 芸・体能 (美術・体育系) クラス: 6単位 (3単位 [英語I]、3単位 [会話])

項目 / 学校	A 校	B 校	C 校	D 校	
英語単位数 [科目名]	3 年	文系: 7 単位 (4 単位 [英語Ⅰ]、3 単位 [会話]) 理系: 7 単位 (4 単位 [英語Ⅰ]、3 単位 [説解])	7 単位 (4 単位 [英語Ⅰ]、3 単位 [説解]) 6 単位 (4 単位 [英語Ⅰ]、2 単位 [聽解])	6 単位 (4 単位 [英語Ⅰ]、3 単位 [会話]) 外國留学クラス: 13 単位 (4 単位 [英語Ⅰ]、3 単位 [会話]、3 単位 [会話]、3 単位 [聽法]、3 単位 [聽解])	文系: 7 単位 (4 単位 [英語Ⅰ]、3 単位 [会話]) 理系: 7 単位 (4 単位 [英語Ⅰ]、3 単位 [会話]) 芸・体能 (美術・体育系) クラス: 6 単位 (3 単位 [英語Ⅰ]、3 単位 [会話])
英語カリキュラムの特徴の有無 [その内容]		なし	なし	あり [ネイティブ教員が行う英会話の授業がある]	あり [ネイティブ教員が行う英会話の授業がある]
習熟度クラス別授業の実施 [対象学年]		あり [1 年生]	あり [1 年生]	あり [1、2 年生]	あり [1～3 年生]
同校の英語の授業に近いもの*		大学修学能力試験対策重視	大学修学能力試験対策重視	大学修学能力試験対策重視	大学修学能力試験対策重視
英語イベントの有無 [その内容]		なし	なし	あり [英語語彙、会話、聞き取りの大会 と学級別英語演劇大会]	あり [スピーチ・コンテスト、スペリング・コンテスト (Spelling Bee)]
英語学習の自学設備・施設の有無 [その内容]		あり [マルチメディア室、決められた時間(午後 6 時から 9 時)で自発的にインターネット講義など利用可]	あり [インターネット室があるが主にコンピューターの授業で使用]	あり [EBS *4 を視聴することができる]	あり [保護者への授業公開、教師授業評価、校内研究授業、地区別公開授業、教育実習期間中の模範授業]
校内研修などの有無 [その内容]		あり [同僚との勉強会(年 1 回)・授業発表 (公開授業、校内)、協議会]	あり [保護者への授業公開]	あり [年 1 回以上、英語科公開授業]	

*1：私立校は、私企業などの寄付によって建てられた学校であり、学校がある地域に住む生徒が通うところは公立と同じである。

*2：調査では、「ご勤務校の英語の授業はどれに近いと思いますか。あえて言えば近いと思う番号に○をつけてください。」という形でたずね、以下の選択肢（1. 英語コミュニケーション能力育成重視、2. 大学修学能力試験対策重視、3. その他）から選んでもらっている。

*3：他の学校と同様、国立大附属校にも近隣の生徒が入学してくる。

*4：Korean Educational Broadcasting System (韓国教育放送公社) の略称。韓国の公営の教育専門放送局。

2. 調査票見本（生徒用）

東アジア高校英語教育GTEC調査2006 2次調査 生徒アンケート

◎ 回答はすべてこの用紙に記入してください。ご協力、よろしくお願ひいたします。

① 小学校入学前の英語学習について

1) 小学校入学前の英語学習について、該当する欄に回答を記入してください。

小学校入学前に英語学習をしていなかった人は、②へお進みください。

学習方法	始めた年齢	期間・回数 (中断した期間を除く)	取り組み時間 (平均)
1.教材、テレビ・ラジオなどによる在宅学習	[]歳～	約[]年	週[]分
2.英会話教室（会話中心）	[]歳～	約[]年	週[]時間
3.学習塾（文字や文法などの学習中心）	[]歳～	約[]年	週[]時間
4.英語キャンプなどへの参加	(最初に参加した年齢) []歳	約[]回	(1回につき) 約[]日間
5.家庭教師	[]歳～	約[]年	週[]時間
6.幼稚園で	[]歳～	約[]年	週[]時間

② 小学生のときの英語学習について

1) 小学生のときの学校外での英語学習について、該当する欄に回答を記入してください。

小学生のとき、学校外で英語学習をしていなかった人は、2)にお進みください。

学習方法	始めた学年	期間・回数 (中断した期間を除く)	取り組み時間 (平均)
1.教材、テレビ・ラジオなどによる在宅学習	小学 []年生～	約[]年	週[]分
2.英会話教室（会話中心）	小学 []年生～	約[]年	週[]時間
3.学習塾（文字や文法などの学習中心）	小学 []年生～	約[]年	週[]時間
4.英語キャンプなどへの参加	(最初に参加した学年) 小学[]年生	約[]回	(1回につき) 約[]日間
5.家庭教師	小学 []年生～	約[]年	週[]時間

2) 小学生のときの学校および学校外での英語学習が、中学生のときの英語学習に(良い・良くない)影響があったとしたら、どんなことですか。

[]

- 3) 小学生のときの学校および学校外での英語学習が、現在の英語学習に(良い・良くない)影響があるとしたら、どんなことですか。

[]

(3) 中学生のときの英語学習について

- 1) 中学生のときの学校外での英語学習について、該当する欄に回答を記入してください。
中学生のとき、学校外で英語学習をしていなかった人は、2)にお進みください。

学習方法	始めた学年	期間・回数 (中断した期間を除く)	取り組み時間 (平均)
1.教材、テレビ・ラジオなどによる在宅学習	中学 []年生～	約[]年	週[]分
2.英会話教室（会話中心）	中学 []年生～	約[]年	週[]時間
3.学習塾（文字や文法などの学習中心）	中学 []年生～	約[]年	週[]時間
4.英語キャンプなどへの参加	(最初に参加した学年) 中学[]年生	約[]回	(1回につき) 約[]日間
5.家庭教師	中学 []年生～	約[]年	週[]時間

- 2) 中学生のときの学校および学校外での英語学習が、現在の英語学習に(良い・良くない)影響があるとしたら、どんなことですか。

[]

(4) 現在の英語学習について

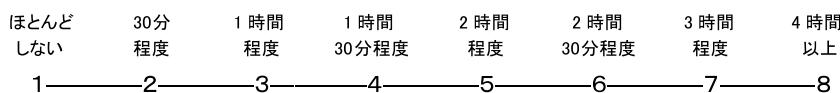
- 1) 高校入学以降に学校以外で行っている(行った)英語学習について、該当する欄に回答を記入してください。高校入学以降、学校外で英語学習を行っていない人は、2)にお進みください。

学習方法	始めた学年	期間・回数 (中断した期間を除く)	取り組み時間 (平均)
1.教材、テレビ・ラジオなどによる在宅学習	高校 []年生～	約[]年	週[]分
2.英会話教室（会話中心）	高校 []年生～	約[]年	週[]時間
3.学習塾（文字や文法などの学習中心）・予備校	高校 []年生～	約[]年	週[]時間
4.英語キャンプなどへの参加	(最初に参加した学年) 高校[]年生	約[]回	(1回につき) 約[]日間
5.家庭教師	高校 []年生～	約[]年	週[]時間

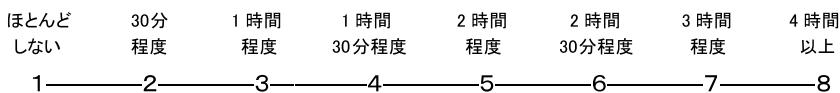
裏に続く⇒

- 2) あなたは学校での授業以外に1日にどの程度英語を学習していますか。学習塾や家庭教師について勉強する時間も含めてください。平日・休日それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 「平日 1 日あたりの平均」



2. 「休日(土日・祝日)1 日あたりの平均」



- 3) あなたが、勉強以外で英語に触れている時間は 1 日にどの程度ですか。(例: テレビで英語の番組を見る、インターネットで英語のサイトを見る、など。)

[一日平均 分程度]

⑤ 英語圏への渡航経験について

- 1) 英語圏での経験について教えてください。当てはまるものの番号1つに○をつけてください。

1. ホームステイ・留学(海外在住を含む)をしたことがある →2)へお進みください。

2. 海外旅行にいったことがある →⑥へお進みください。

3. 両方いったことがある(ホームステイ・留学・海外在住と海外旅行) →2)へお進みください。

4. 英語圏にいったことがない →⑥にお進みください。

▶2) 英語圏にホームステイや留学(海外在住を含む)をしたことがある人のみ回答してください。

- 2)-1. どれくらい滞在しましたか。当てはまるものの番号1つに○をつけてください。

複数回滞在したことがある人はそのだいたいの合計を答えてください。

- 1. 2週間未満
- 2. 1ヶ月未満
- 3. 半年未満
- 4. 1年未満
- 5. 1年間
- 6. 2年未満
- 7. 3年未満
- 8. 3年以上

- 2)-2. 滞在していた時期はいつですか。当てはまるものの番号全てに○をつけてください。

- 1. 小学校入学前
- 2. 小学校低学年
- 3. 小学校高学年
- 4. 中学校
- 5. 高校

⑥ 日常生活での英語を使う場面・活動について

以下の「日常生活で英語を使う場面や活動」について、経験したことがありますか。当てはまるものの番号に○をつけてください。

活動内容	英語での経験		
	ない	少し ある	何度 もある
① 英語で電話をかける	1	2	3
② 英語で電話をうける	1	2	3
③ 英語で道を尋ねられて答える	1	2	3
④ 自分の好きな英語の歌を歌う	1	2	3
⑤ 歌詞を見ながら英語の歌を聴く	1	2	3
⑥ 英語の天気予報を聞く	1	2	3
⑦ テレビ・ラジオでの英語音声ニュースを聞く	1	2	3
⑧ 英語音声の映画を、字幕なしで見る	1	2	3
⑨ 英語で書かれた説明書(例えば、電気製品などの取り扱い説明書や薬の飲み方)を読む	1	2	3
⑩ 教科書以外の英語の本を、自分から進んで読む	1	2	3
⑪ 英字新聞を読む	1	2	3
⑫ 英語で書かれたインターネットのホームページやブログなどを読む	1	2	3
⑬ 英語での電子メールやハガキ、手紙を受け取って読む	1	2	3
⑭ 英語で電子メールを書く	1	2	3
⑮ 英語でハガキやカードを書く	1	2	3
⑯ 英語で手紙を書く	1	2	3
⑰ 英語で日記を書く	1	2	3
⑱ 街で出会った外国の人に英語で話しかける	1	2	3

⑦ 資格試験について

- 1) 受検されたことのある英語の資格試験の番号全てに○をつけてください。よろしければ、だいたいのスコア・級をお答えください。

- | | | | |
|-----------------|----------|----------|---------|
| 1. TOEIC | [] | 点 | |
| 2. TOEIC Bridge | [] | 点 | |
| 3. TOEFL PBT | [] | 点 | |
| 4. TOEFL CBT | [] | 点 | |
| 5. PELT | [] | 級 | |
| 6. その他 | [資格名 | [] | [級/点] |

～ご協力ありがとうございました～

3. 調査票見本（教員用）

東アジア高校英語教育GTEC調査2006 2次調査 教員アンケート

◎ 回答はすべてのこの用紙に記入してください。ご協力よろしくお願ひいたします。

1 ご自身についてご回答ください

1) 英語教員歴 年

2) この学校に勤められて何年になりますか。 年

3) 現在のご担当の学年は何年生ですか。当てはまるものの番号全てに○をつけてください。

1. 10年生 2. 11年生 3. 12年生

4) 担当されている科目を教えてください。

[]

5) 過去5年間に国内の英語教員研修(校内研修以外)に参加されましたか。

1. はい 2. いいえ →8)へお進みください。

6) 過去5年間で平均すると、参加回数はだいたいどれくらいですか。当てはまるものの番号1つに○をつけてください。

1. 年1回未満 2. 年1回以上 3. 年2回以上 4. 年3回以上

7) 参加された研修はどのようなものでしたか。当てはまるものの番号全てに○をつけてください。

1. 国主催の研修 2. 自治体(教育委員会・教育センターなど)主催の研修
3. 学会や民間が主催の研修 4. 他校・地域での自発的な研究会
5. その他

8) 英語科の教科主任をご担当されていますか。

1. はい 2. いいえ

2 ご勤務校についてご回答ください

1) 一クラスの平均人数を教えてください。

[]

2) ご勤務校の英語のカリキュラムに特徴はありますか。

1. ある 2. ない →4)に進んでください。

3) どんな特徴か具体的に教えてください。

[]

4) 習熟度別の英語の授業が行われていますか。

1. はい (年生から) 2. いいえ

5) ご勤務校の英語の授業はどれに近いと思いますか。あえて言えば近いと思う番号に○をつけてください。

1. 英語コミュニケーション能力育成重視 2. 大学修学能力試験対策重視
3. その他()

6) 海外ホームステイやスピーチコンテストなどの英語の行事・イベントなどがありますか。

1. ある 2. ない →8)に進んでください。

7) どんな行事があるか具体的に教えてください。

〔

〕

8) 生徒たちがインターネットなどで、自分で英語を学習できる設備・施設が学校にありますか。

1. ある 2. ない →10)に進んでください。

9) どんな設備・施設があるか、また、その使用の状況を教えてください。

〔

〕

10) ご勤務校では英語の授業シラバスは、どなたが作成されていますか。(例: それぞれ担当の先生が個人で作成、同一科目は責任者を決めて作成、など)

〔

〕

11) お使いになっている英語Ⅰ、英語Ⅱの出版社名を教えてください。

〔

〕

12) ご勤務校では、校内研修や教科指導についての検討会、校内授業公開などは行われていますか。

1. はい 2. いいえ →14)に進んでください。

13) どんなことを行っているか、またその頻度を教えてください。

〔

〕

14) ご勤務校がある場所はどのような地域ですか。また、ご勤務校の生徒の特徴を教えてください。

〔

〕

3 英語教育について先生のご意見を教えてください

1) 生徒にどういう英語力を養わせたいと思っていますか。具体的に3つ挙げてください。

〔

〕

〔

〕

〔

〕

2) 上記であげられた英語力の何%ぐらいを、今の学校では卒業までに生徒たちが到達していると感じられていますか。

〔

% 〕

ご協力ありがとうございました。

4. インタビュー調査項目（生徒）

	調査項目	質問	時間分(累計)
0	挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・インタビュー調査へのご協力のお礼 ・生徒の自己紹介（5人） 	10
1	英語使用経験について	<p>Q. 普段、英語に触れることがありますか。どのようにして英語に触れて（聞いたり、見たり、読んだりして）いますか。</p> <p>*生徒には、韓国語で書かれた以下のメディア例のプリントを配布。 〔メディア例：（ケーブル）テレビ、ラジオ、インターネット、英字新聞、本、雑誌、マンガ、電子メール、手紙、電話、携帯電話、携帯ゲーム機、CD（音楽）、映画・ドラマ〕</p> <p>Q. インターネット、ケーブルテレビは利用していますか。</p> <p>Q. テレビなどではどんな番組を見ていますか。</p> <p>Q. 英語をどのようにして（どういうところで）使って（話したり、書いたりして）いますか。</p>	10(20)
2	英語に対する意識について	<p>Q. 私たちの調査では、韓国の生徒は日本の生徒よりも英語の力がついているという結果が出ているのですが、英語の勉強は大変ですか／英語の勉強は楽しいですか。</p> <p>Q. 英語が使えるようになりたいですか。またその理由は何ですか。</p> <p>Q. 将来、「英語が使えるようにならなければならない」と感じますか／そう感じるのはどうしてですか。</p> <p>Q. 「英語が使えるようになる」ということは、どれくらい、または、どのように英語ができるイメージですか／どの試験でどれくらいの点数がとりたいですか。</p>	10(30)
3	学校外での英語学習について	<p>Q. 現在、学校が終わってから自宅だけでなく、塾や予備校、英会話学校など校外で英語の勉強をしていますか／どこでどのように英語を勉強していますか。</p> <p>Q. 韓国の生徒は、日本の生徒に比べて、リーディング、リスニング、語彙の面で、より力がついているという結果が出ています。リーディング、リスニング、語彙を強化するためにどのような勉強をしているか教えてください。</p>	7(37)
4	これまでの英語学習について	<p>Q. みなさんは小学生、またはそれより前から英語を勉強していたと思いますが、小学校の英語学習でどのように英語の勉強をしていましたか。</p> <p>Q. 学校外でも勉強していた人は、学校外ではどこで（塾や英会話教室など）、どのようなことを勉強していましたか。</p> <p>Q. 小学校での英語学習は、今の英語学習にどのように役立っていますか。（例：中学校の先生の言うことがわかった、単語力がついた、英語に興味がわいたなど）</p>	8(45)
5	補足質問		5(50)

*あらかじめ用意した上記の調査項目を韓国語に翻訳。その上で、日韓バイリンガルの韓国人インタビュアーが韓国語で生徒に質問を行い、グループ・インタビューを実施した。日本人研究者には別途、同時通訳を入れた。

5. インタビュー調査項目（教員）

	調査項目	質問	時間 分(累計)
0	挨拶	・挨拶 ・インタビュー調査へのご協力のお礼 ・今回のインタビュー調査の目的の説明	8
1	学校での英語学習について		10(18)
	①授業について	<p>「東アジア調査 2006」の結果説明:「私たちの調査で、日本と韓国の違いが顕著だった結果のひとつが英語力です。特に韓国の生徒のリーディング、リスニングのスコアは日本の生徒よりもかなり高い結果となりました。私たちは、この違いは英語の学習量と質が違うからではないだろうかと考えています。そこで、韓国での授業がどのように行われているか教えていただきたいと思います。」</p> <p>Q. 韓国の教科書は日本のものに比べてかなり厚いのですが、授業の中で教科書の内容は全て扱うのでしょうか / 扱わない部分があるのでしょうか。</p> <p>Q. 教科書の英文暗記はさせていますか。</p> <p>Q. 音読はさせていますか。</p> <p>Q. 文法や語彙の指導について特別な配慮をされていますか。</p> <p>Q. 宿題は出していますか。</p> <p>Q. 副教材は使っていますか。</p> <p>Q. 教員用指導書はどのように使っていますか。</p> <p>Q. 英語の授業で、聞く・話す・読む・書くという 4 つの技能を扱う割合は、それぞれどのくらいでしょうか。</p> <p>Q. それらの技能が重要視されている / されていないのはどうしてでしょうか。</p> <p>Q. 授業で自分の意見を書くなどの作文を扱うことはあるでしょうか。</p> <p>Q. 授業で扱う内容に、大学修学能力試験の内容が影響しているでしょうか。</p>	
	②授業以外の学習について	<p>Q. 韓国では放課後に学校を開放して生徒たちが自習できるようにしていると聞いているのですが、こちらの学校でもそのような取り組みをしているのでしょうか。</p> <p>Q. 実態（実施時間、学習内容、参加率）はどうでしょうか。</p> <p>Q. 教員はどのようにかかわっているのでしょうか。</p> <p>Q. 英語の本を集めたライブラリー（多読ライブラリー）や E ラーニングのプログラムなど生徒たちが自学できるような施設が学校にあるでしょうか。</p> <p>Q. 生徒たちの授業以外での学習をチェックする方法があるのでしょうか。</p>	5(23)
	③試験・大学入試について	<p>Q. 韓国では高校入試がなく、様々な成績層の生徒が入学してくると聞いていますが、英語力のばらつきは大きいでしょうか。</p> <p>Q. 大学入試にむけた勉強が本格的に始まるのは何年生のいつぐらいからでしょうか。また、学校での英語の授業の内容は、学年によって異なってくるのでしょうか。</p> <p>Q. 入試対策としてはどんな勉強をするのが一般的ですか。</p> <p>Q. 大学入試で求められる英語の力と社会で求められる英語の力とでは、「ずれ」があるのでしょうか。</p> <p>Q. 大学入試で求めている英語の力と資格試験で測る英語の力とでは異なるのでしょうか。</p>	5(28)

	調査項目	質問	時間 分(累計)
2	英語使用経験について	「東アジア調査2006」の結果説明：「韓国の生徒は、日本の生徒に比べて、日常生活で英語に触れたり、使ったりしているという結果が出ています。その差はとても大きく、韓国の生徒たちがどうして意欲的に英語に触れよう・使おうとしているのか知りたいと考えています。」 Q. 「英語で電話をかける」「インターネットで英語の記事を読む」というような宿題を出したりするのでしょうか。 Q. このような活動が教科書の中に含まれているのでしょうか。 Q. 外国人と英語で話すという機会が生徒たちにあるのでしょうか。 Q. 先生が生徒たちに自分でも家で英語に触れたり使ったりするように、アドバイスしたり薦めたりしているのでしょうか。 Q. (もしそのような働きかけもないとする) どうして韓国の生徒は（日本の生徒に比べて）、自分から英語に触れてみよう・使ってみようとしていると思われますか。 Q. (アンケート調査の結果から、日本の生徒に比べて、韓国の生徒は、自分から英語を使うなど英語学習に対して意欲的と思われるのですが) 生徒の英語学習に対する意欲を高めるために、行っている指導というはあるでしょうか。	7(35)
3	これまでの英語学習について	Q. 韓国の生徒たちは小学校3年生から英語を学習していますが、高校に入學してくるまでの英語学習（小・中学校）で、十分力をつけていると感じられていますか。 Q. (ついていると感じている場合) どの程度英語の力がついていますか。 Q. (ついていないと感じる場合) どの程度の英語の力を中学校まででつけてきてほしいと考えていますか。 Q. (もし小学校英語が始まる前の生徒をご存知でしたら) 小学校英語を経験してきた現在の高校生とそれ以前の小学校英語を経験していない生徒ではどんなところに違いがありますか。	10(45)
4	補足質問		5(50)

*あらかじめ用意した上記の調査項目を韓国語に翻訳。その上で、日韓バイリンガルの韓国人インタビューアが、質問項目ごとに調査対象の教員の回答と、日本人研究者からの質問を通訳しながら、インタビューを実施した。

6. 基礎集計表（生徒）

質問項目	A 校 (n=5)	B 校 (n=5)	C 校 (n=5)	A.B.C 校 合計 (n=15)		D 校 (n=5)
	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)
1) 小学校入学前の英語学習について、該当する欄に回答を記入してください。(複数回答) * それぞれの項目の該当する欄に記入があったものを集計した。						
1. 教材、テレビ・ラジオなどによる在宅学習	1	0	3	4	26.7	2
2. 英会話教室（会話中心）	0	0	0	0	0	0
3. 学習塾（文字や文法などの学習中心）	2	0	0	2	13.3	2
4. 英語キャンプなどへの参加	0	0	0	0	0	2
5. 家庭教師	0	0	0	0	0	1
6. 幼稚園で	0	0	1	1	6.7	2
無答不明	3	5	2	10	66.7	0
2) 小学生のときの学校外での英語学習について、該当する欄に回答を記入してください。(複数回答) * それぞれの項目の該当する欄に記入があったものを集計した。						
1. 教材、テレビ・ラジオなどによる在宅学習	2	2	3	7	46.7	2
2. 英会話教室（会話中心）	0	3	3	6	40.0	1
3. 学習塾（文字や文法などの学習中心）	2	5	1	8	53.3	4
4. 英語キャンプなどへの参加	0	0	0	0	0	1
5. 家庭教師	0	1	1	2	13.3	1
無答不明	2	0	1	3	20.0	0
3) 中学生のときの学校外での英語学習について、該当する欄に回答を記入してください。(複数回答) * それぞれの項目の該当する欄に記入があったものを集計した。						
1. 教材、テレビ・ラジオなどによる在宅学習	1	0	2	3	20.0	0
2. 英会話教室（会話中心）	0	0	1	1	6.7	0
3. 学習塾（文字や文法などの学習中心）	2	5	4	11	73.3	5
4. 英語キャンプなどへの参加	0	0	0	0	0	0
5. 家庭教師	0	2	2	4	26.7	0
無答不明	3	0	0	3	20.0	0
4) 高校入学以降に学校以外で行っている（行った）英語学習について、該当する欄に回答を記入してください。(複数回答) * それぞれの項目の該当する欄に記入があったものを集計した。						
1. 教材、テレビ・ラジオなどによる在宅学習	1	1	3	5	33.3	1
2. 英会話教室（会話中心）	0	0	0	0	0	0
3. 学習塾（文字や文法などの学習中心）・予備校	2	5	2	9	60.0	5
4. 英語キャンプなどへの参加	0	0	0	0	0	1
5. 家庭教師	0	0	1	1	6.7	0
無答不明	3	0	1	4	26.7	0
5) あなたは学校での授業以外に 1 日にどの程度英語を学習していますか。学習塾や家庭教師について勉強する時間も含めてください。平日・休日それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。						
1. ほとんどしない	1	0	0	1	6.7	0
2. 30 分程度	2	1	0	3	20.0	0
3. 1 時間程度	0	1	1	2	13.3	0
4. 1 時間 30 分程度	0	1	2	3	20.0	1
5. 2 時間程度	0	1	1	2	13.3	2
6. 2 時間 30 分程度	0	0	0	0	0	2
7. 3 時間程度	1	1	0	2	13.3	0
8. 4 時間以上	0	0	1	1	6.7	0
無答不明	1	0	0	1	6.7	0
6) 「平日 1 日あたりの平均」	1. ほとんどしない	0	0	0	0	0
	2. 30 分程度	0	0	0	0	0
	3. 1 時間程度	2	2	2	6	40.0
	4. 1 時間 30 分程度	0	0	0	0	0
	5. 2 時間程度	1	2	2	5	33.3
	6. 2 時間 30 分程度	0	0	0	0	0
	7. 3 時間程度	0	1	1	2	13.3
	8. 4 時間以上	1	0	0	1	6.7
	無答不明	1	0	0	1	6.7
7) 「休日（土日・祝日）1 日あたりの平均」	1. ほとんどしない	0	0	0	0	0
	2. 30 分程度	0	0	0	0	0
	3. 1 時間程度	2	2	2	6	40.0
	4. 1 時間 30 分程度	0	0	0	0	0
	5. 2 時間程度	1	2	2	5	33.3
	6. 2 時間 30 分程度	0	0	0	0	0
	7. 3 時間程度	0	1	1	2	13.3
	8. 4 時間以上	1	0	0	1	6.7
	無答不明	1	0	0	1	6.7

※本調査におけるD校の調査対象が、留学準備クラスという特性があったことから、A、B、C校とD校を分けて集計した(p.77まで同様)。

質問項目	A校 (n=5)	B校 (n=5)	C校 (n=5)	A.B.C校 合計 (n=15)		D校 (n=5)
	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)
1) 英語圏での経験について教えてください。						
1. ホームステイ・留学（海外在住を含む）をしたことがある	0	0	0	0	0	1
2. 海外旅行にいったことがある	0	2	0	2	13.3	0
3. 両方いったことがある（ホームステイ・留学・海外在住と海外旅行）	0	0	0	0	0	1
4. 英語圏にいったことがない	3	0	1	4	26.7	2
1～3のうちどれか不明だが英語圏への渡航経験はある＊1	0	1	0	1	6.7	1
無答不明	2	2	4	8	53.3	0
5 英語圏への渡航経験について	2)-1. どれくらい滞在しましたか。複数回滞在したことがある人はそのだいたいの合計を教えてください。 ★英語圏への渡航経験がある生徒のみ回答 (ABC校合計、n=3) *2					
1. 2週間未満	0	0	0	0	—	0
2. 1ヶ月未満	0	0	0	0	—	0
3. 半年未満	0	1	0	1	—	0
4. 1年未満	0	0	0	0	—	1
5. 1年間	0	0	0	0	—	1
6. 2年未満	0	0	0	0	—	0
7. 3年未満	0	0	0	0	—	0
8. 3年以上	0	0	0	0	—	0
無答不明	0	2	0	2	—	1
6 日常生活での英語を使う場面・活動について	2)-2. 滞在していた時期はいつですか。（複数回答） ★英語圏への渡航経験がある生徒のみ回答 (ABC校合計、n=3) *2					
1. 小学校入学前	0	0	0	0	—	0
2. 小学校低学年	0	0	0	0	—	0
3. 小学校高学年	0	1	0	1	—	0
4. 中学校	0	0	0	0	—	1
5. 高校	0	0	0	0	—	1
無答不明	0	2	0	2	—	1
以下の「日常生活で英語を使う場面や活動」について、経験したことがありますか。						
①英語で電話をかける	1. ない	3	4	3	10	71.4
	2. 少しある	1	1	1	3	21.4
	3. 何度もある	0	0	1	1	7.1
	無答不明	1	0	0	1	—
	1. ない	3	3	3	9	64.3
②英語で電話をうける	2. 少しある	1	2	2	5	35.7
	3. 何度もある	0	0	0	0	0
	無答不明	1	0	0	1	—
	1. ない	2	2	1	5	35.7
③英語で道を尋ねられて答える	2. 少しある	1	3	3	7	50.0
	3. 何度もある	1	0	1	2	14.3
	無答不明	1	0	0	1	—
	1. ない	0	0	1	1	7.1
④自分の好きな英語の歌を歌う	2. 少しある	1	2	0	3	21.4
	3. 何度もある	3	3	4	10	71.4
	無答不明	1	0	0	1	—
	1. ない	0	0	1	1	7.1
⑤歌詞を見ながら英語の歌を聴く	2. 少しある	1	2	0	3	21.4
	3. 何度もある	3	3	4	10	71.4
	無答不明	1	0	0	1	—
	1. ない	5	5	3	13	86.7
⑥英語の天気予報を聞く	2. 少しある	0	0	1	1	6.7
	3. 何度もある	0	0	1	1	6.7
	無答不明	0	0	0	0	—
	1. ない	2	2	2	6	40.0
⑦テレビ・ラジオでの英語音声ニュースを聞く	2. 少しある	2	2	2	6	40.0
	3. 何度もある	1	1	1	3	20.0
	無答不明	0	0	0	0	—
	1. ない	2	2	2	6	40.0

* 1: 5の1)には回答をしていないが2)-1、または、2)-2へ回答している生徒を、英語圏への渡航経験があるものとみなした。

* 2: 5の2)-1、2)-2のA,B,C校の合計の割合(%)は、n=3と人数が少ないため、割合は算出していない。

* 3: 6.日常生活での英語を使う場面・活動についてのA,B,C校の合計の割合(%)は、無答不明を除いて算出している。そのため、6.①～⑤までの割合(%)では、n=14となっている。

質問項目	A 校 (n=5)	B 校 (n=5)	C 校 (n=5)	A.B.C 校 合計 (n=15)		D 校 (n=5)
	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)
6 日常生活での英語を使う場面・活動について	以下の「日常生活で英語を使う場面や活動」について、経験したことがありますか。					
	1. ない	3	3	1	7	46.7
	2. 少しある	1	2	2	5	33.3
	3. 何度もある	1	0	2	3	20.0
	無答不明	0	0	0	0	—
	⑧英語音声の映画を、字幕なしで見る	1. ない	0	1	0	1
		2. 少しある	3	4	3	10
		3. 何度もある	2	0	2	4
		無答不明	0	0	0	0
	⑨英語で書かれた説明書（例えば、電気製品などの取り扱い説明書や薬の飲み方）を読む	1. ない	0	1	0	1
		2. 少しある	3	4	3	10
		3. 何度もある	2	0	2	4
		無答不明	0	0	0	0
	⑩教科書以外の英語の本を、自分から進んで読む	1. ない	2	2	1	5
		2. 少しある	3	3	3	9
		3. 何度もある	0	0	1	1
		無答不明	0	0	0	0
	⑪英字新聞を読む	1. ない	4	4	3	11
		2. 少しある	1	0	1	2
		3. 何度もある	0	1	1	2
		無答不明	0	0	0	0
	⑫英語で書かれたインターネットのホームページやブログなどを読む	1. ない	3	1	1	5
		2. 少しある	2	3	3	8
		3. 何度もある	0	1	1	2
		無答不明	0	0	0	0
	⑬英語での電子メールやハガキ、手紙を受け取って読む	1. ない	3	3	3	9
		2. 少しある	0	1	1	2
		3. 何度もある	2	1	1	4
		無答不明	0	0	0	0
	⑭英語で電子メールを書く	1. ない	3	3	3	9
		2. 少しある	1	1	1	3
		3. 何度もある	1	1	1	3
		無答不明	0	0	0	0
	⑮英語でハガキやカードを書く	1. ない	4	4	4	12
		2. 少しある	1	1	1	3
		3. 何度もある	0	0	0	0
		無答不明	0	0	0	0
	⑯英語で手紙を書く	1. ない	3	5	4	12
		2. 少しある	2	0	1	3
		3. 何度もある	0	0	0	0
		無答不明	0	0	0	0
	⑰英語で日記を書く	1. ない	2	3	3	8
		2. 少しある	2	2	2	6
		3. 何度もある	1	0	0	1
		無答不明	0	0	0	0
	⑱街で出会った外国人に英語で話しかける	1. ない	2	2	3	7
		2. 少しある	2	3	2	7
		3. 何度もある	1	0	0	1
		無答不明	0	0	0	0
7 資格試験について	1) 受検されたことのある英語の資格試験の番号全てに○をつけてください。よろしければ、だいたいのスコア・級をお答えください。(複数回答)	0	0	2	2	13.3
	1. TOEIC	0	0	2	2	0
	2. TOEIC Bridge	0	0	0	0	0
	3. TOEFL PBT	0	0	0	0	0
	4. TOEFL CBT	0	0	0	0	1
	5. PELT	0	0	1	1	6.7
	6. その他	0	0	0	0	0
	無答不明	5	5	3	13	86.7

* 1: 6. 日常生活での英語を使う場面・活動についてのA, B, C 校の合計の割合(%)は、無答不明を除いて算出している。

7. GTEC for STUDENTSのスコア・グレードについて

GTEC for STUDENTSのトータルスコア(800点満点)は、リーディング(320点満点)、リスニング(320点満点)、ライティング(160点満点)の3技能の合計得点である。また、トータルスコアの点数によって、トータルグレードとして6段階に分けられている。また、3技能(リーディング、リスニング、ライティング)についても、それぞれのスコアによって、6段階のグレードに分けられている。

<トータルグレード>

グレード	スコア	グレードの意味
6	610以上	英語圏の4年制大学への留学に挑戦できる最低限レベル(680以上)
5	520~609	英語圏の2年制大学への留学に挑戦できる最低限レベル(540以上)
4	440~519	短期の語学留学で英語圏に行き、授業についていくための最低限レベル
3	380~439	英語圏のホームステイや海外旅行に行って、英語体験を楽しめる最低限レベル
2	300~379	英語圏のネイティブ・スピーカーの先生に積極的に話しかけるなど、経験を積むレベル
1	299以下	これからの可能性に期待レベル

<リーディング、リスニング、ライティングのグレード>

グレード	スコア	リーディング		リスニング		ライティング	
		グレードの意味	スコア	グレードの意味	スコア	グレードの意味	スコア
6	230以上	●文章全体の趣旨を読み取ったり、検索が困難な特定の情報を探し出したりすることができる。 ●適切なスピードで、正確に英文を読むことができる。	220以上	●さまざまな内容を細かいところまで十分に理解できる。 ●長めの話や会話の流れを理解し、全体にわたって言われていることの意図をくみ取ることができる。 ●応答もすばやく適切に行うことができる。	160	●興味深い事例を取り入れながら、課題に沿った話の展開が完全にできている。 ●文章の構成がしっかりしていて、文や段落が論理的につながっている。 ●課題にふさわしい具体的な語句が、よく考えて選ばれている。	
5	229 ~ 190	●文章全体の趣旨を伝える文がどれであるか判断したり、検索が困難な特定の情報を探し出したりすることがほぼ的確にできる。 ●適切なスピードで、ほぼ正確に英文を読むことができる。	219 ~ 200	●さまざまな内容を細かいところまではほぼ理解できる。 ●長めの話や会話の流れを理解し、話し手の意図をくみ取ることができる。 ●応答もすばやく適切に行うことができる。	159 ~ 130	●事例を取り入れながら、課題に沿った話の展開ができる。 ●接続語句を正しく使って、文章はまとまりよく構成されている。 ●使われている語句は正確で多様性に富んでいる。	
4	189 ~ 160	●簡単な類推を行ったり、検索が比較的困難な情報を探し出して理解することができる。 ●文章を読むスピードは比較的ゆっくりだが、ほぼ正確に理解できる。	199 ~ 180	●話や会話の一部に関して類推を行ったり、複数箇所にわたって述べられた情報を総合して判断することができる。 ●相手の発言に対して、安定して応答ができる。	129 ~ 100	●課題に沿った話の展開が十分にできている。 ●接続語句をうまく使いながら、論理的に整理された文章が書けている。 ●難しい語句を使おうとする努力が認められる。 ●ごくまれにミスによって、考えが伝わりにくいところがある。	
3	159 ~ 140	●簡単な類推を行ったり、何箇所かにまたがる情報も文字通りに理解することができます。 ●検索が容易な情報を探し出して理解できる。 ●文章を読むスピードは比較的ゆっくりだが、ほぼ正確に理解できる。	179 ~ 160	●基礎的な語句は身についているが慣用表現の理解はまだ不十分である。 ●はっきりと言われている文の意味を理解できる。 ●応答の速さは十分ではないが、相手の話をほぼ正確に理解できる。	99 ~ 80	●話の展開はやや不十分だが、具体的な事例を含めて、ほぼ課題に沿った内容が書けている。 ●文の多くは論理的に整理され、構文や語句にもいくらか多様性が見られる。 ●時にミスによって、考えが伝わりにくいうことがある。	
2	139 ~ 120	●ややレベルの高い単語や語句を理解することができます。 ●概要をつかんだり、情報を探し出したたりする力はまだ不十分である。 ●文章を読むのに時間がかかる。	159 ~ 140	●ややレベルの高い単語を聞き取ったり複数の基礎的な語句を聞き取ることができる。 ●相手の話をある程度理解できることもあるが、安定していない。	79 ~ 40	●語いが少なく、文型・構文は単純なものであるが、英語で表現しようとする意思が認められる。 ●最後まで書いていない文や語順が不正確な文があり、考えが伝わりにくいうことがある。	
1	119 ~	●基礎的な単語や語句を理解できる。 ●基礎的な構文を使った、ごく簡単な内容を理解できる。 ●文章を読むのに時間がかかり、理解が不正確になることがある。	139 ~	●基礎的な単語の部分だけを断片的に聞き取ることができる。 ●基礎的な構文を使った、ごく簡単な内容について、理解することができる。	39 ~	●文章が短く、ごく簡単な単語と文型で表現ができる。 ●文の一つ一つが最後まで書いてないことがある。 ●日本語を使って表現している部分がある。	

「東アジア高校英語教育GTEC調査2006」、および、二次調査
調査企画・分析メンバー

<日本>

- 吉田 研作 上智大学教授
根岸 雅史 東京外国語大学教授
金森 強 松山大学教授
○緑川 日出子 昭和女子大学教授
○長沼 君主 東京外国語大学専任講師
- 沓澤 糸 Benesse教育研究開発センター主任研究員
○森下 みゆき Benesse教育研究開発センター研究員

<韓国>

- 權 五良 (Oryang Kwon) ソウル大学校教授

調査協力：(株)ベネッセコーポレーション GTEC for STUDENTS編集部

*○は韓国での二次調査参加メンバー。

*所属・肩書きは、報告書刊行時のものです。